公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」
中間活動報告会が開催されました！

公益信託「こうち地域社会づくりファンド」は、ＮＰＯのさまざまな地域社会づくり活動に対する支援を目的に平成１１年に高知県が創設し、（株）四国銀行が運営しています。

今年度、このファンドにより助成を受けている県内のＮＰＯによる中間活動報告会が、９月２７日（日）に高知県立人権啓発センターで行われました。

〈今年度助成を受けている団体〉

活動助成コース

①特定非営利活動法人高知セラピードッグ協会
②特定非営利活動法人高知県生涯学習支援センター
③高知の街を考える十八会
④大正中津川やまびこ会
⑤土佐学協会
⑥武田勝頼土佐の会
⑦全国引きこもり KHJ 親の会高知県支部やいろ鳥の会
⑧よい食生活をすすめるネットワーク
⑨情報交流館ネットワーク
⑩沈下橋クラブ
⑪須崎ドッグラン推進協議会
⑫高知県青少年育成アドバイザー協議会
⑬上東を愛する会
⑭ｍａｍｍａ（マンマ）を楽しむ会

協働助成コース

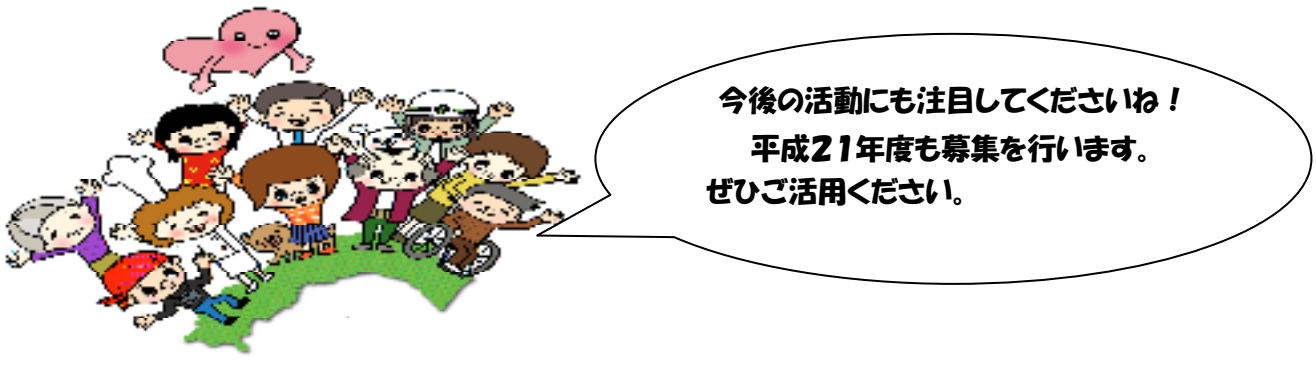
①いきいき百歳体操実行委員会

ハード整備コース

①大高坂松王丸祭実行委員会
②特定非営利活動法人室戸ドルフィンプロジェクト
③井戸端会議

助成を受けているＮＰＯの活動分野は、観光振興や地域資源の保存、障害者支援、子どもの健全育成を支援する活動、地域の活性化をはかる活動、食に関する活動など多岐にわたり、当日は、チラシやパワーポイントを使って、現在実施しているそれぞれの取組について中間の報告を行いました。

７分という短い発表時間でしたが、「計画どおり順調に活動が進んでいる。」「整備した施設を有効に利用できている。」など、ファンドにより様々な成果が得られたことや、現在の課題、今後の予定が報告されました。

また、ファンドの審査会や報告会の場を通じて団体同士の交流が生まれ、お互いの事業に参加しあうなど、横のつながりも生まれていることが印象的でした。

発表後、ファンドの運営委員の方々からは、「素晴らしい活動なので、ぜひ頑張って欲しい。」「色んな事業と絡めながら活動を広げてほしい。」という意見や、ＰＲの方法や財政不足などの運営の課題をあげる団体に対して、提案やアドバイスがありました。